

# ちくさええとこ通信

No.29

祝 令和7年ちくさ二十歳(はたち)の祝典

2025.1.15発行

祝二十歳



おめでとうございます



▲千種幼稚園

千種杉の子保育園▶



1月4日に  
ライブリーちくさで  
「二十歳(はたち)の祝典」  
が開催されました。

この度千種の新しいまちづくりの仕組みが作られます  
4~7ページをご覧ください





# ちくさ杉の子こども園



お散歩 楽しい～

今年度は、保護者の皆様のご理解ご協力でクラス別懇談会や親子ふれあいデーで防災について学び、新しい取組を実施することができました。

クラス活動では、1歳児は、散歩に出掛け、木の実や落ち葉など自然と触れあうことで季節を感じ、3歳児は、遊びを通して保育者や友達とやり取りをしながら、遊びに必要なものを作ったりして楽しみ、友達の良い所もたくさん知ることができました。また、4歳児は、楽器に興味をもち、音を合わせたり様々なりズム打ちをしたりして難しいことにも挑戦しました。5歳児は、体験学習で新幹線について調べたり、乗車体験を通してたくさんの方々に関わっていただいたりしたことで、感謝の気持ちをもつことができました。



コックさんの帽子  
かわいいでしょ



♪みんなで音を  
合わせてみよう♪

一人ずつ切符をもらい  
改札を通る時には少々緊張気味



わ  
れ  
ら  
ち  
く  
さ  
っ  
子

## ちくさを学ぶ ちくさで学ぶ

「ちくさの人やもの」とかかわって学び  
「ふるさと千種」を愛する心を育んでいます

## 千種小学校



2学期も子どもたちの学習のために、沢山の方々に学校へお越しいただきました。どれも地域のみなさまのお力添えなしでは実施することができないものばかりです。子どもたちが笑顔で過ごせたのも、ご家庭、地域の皆様の温かい見守りとご支援のおかげです。本当にありがとうございました。3学期もどうぞよろしくお願ひします。

☆2学期の様子☆



地域講師による大正琴体験



1・2・3年生社会見学旅行



4年生がこども園へ読み聞かせ



6年生卒業証書用皮剥ぎ  
(吉留さんと)



理科おもしろ実験講座  
(波賀小と)



1・2年生講師先生と自然散策

# 千種中学校

体育祭や文化祭をはじめ、各行事や日常の生活から、子どもたちが繰り出す魔法にかかり、何度も心地よい思いをさせてもらいました。地域のみなさまにも素敵な時間と場をお届けできたのではないかと考えています。子どもたちが発揮する力に常に可能性を感じる日々でした。

今年度は、小中高合同で総合的な探究学習を学び、千種学を中心として、自分たちで課題を見出し解決していく取組を実践しました。また、昨年度に体験をした



たたら製鉄実習 (8・9年)

した上級生が下級生を指導することで、今まで以上に千種の素晴らしさを発見し、学び、ふるさと愛を高めました。講師の先生方からもお褒めの言葉をたくさんいただきました。

3学期は、9年生からバトンを引き継ぎ8年生が生徒会を運営し学校・地域を盛り上げていけるように話し合いの日々を送っています。7年生は少し身も心も大きくなり、後輩を迎える準備をしています。そして、

9年生は進路実現におけ、自らの可能性をさらに広げて新たな道を切り拓くために努力の毎日を送っています。

これからも家族や地域のみなさまに支えられていることに日々感謝しながら、素敵な Magic が発揮できるよう千種中学校みんなで頑張っていきます。



◀千種学 しめ縄づくり

# ちくさ Magic



体育祭 集団行動



▲文化祭 全校合唱



## 台湾修学旅行

台北市内班別自主研修、新竹義民高級中学校と姉妹校協定を締結し交流を行いました。



## 千種高校

### 綿花特別授業

高校1年生と中学9年生を対象に紡錘車を使って糸を紡ぐ特別授業を行いました。



### DX 講演会

文部科学省指定 DX ハイスクールの取組としてDX と起業のポイントを学ぶ特別講演会を開催しました。



わ  
れ  
ら  
ち  
く  
さ  
っ  
子

# 新しい千種のまちづくりの仕組みづくり 大詰めデス

## (仮称) NEWまち推の設立に向けて！

千種町が4町合併し栄栗市になって今年で20年になります。この間、千種地域のまちづくりを考え、実行していく体制が、多くの方々のご努力で作られ実行されてきました。そして、今の『千種まちづくり推進委員会』につながっています。

そこで、もう一度、千種のまちづくりについて、全町民の意見を聞き、全町民のまちづくり組織として再スタートするべく、まず、2020年に全町民の皆さんにまちづくりアンケートをとらせていただきました。その後、コロナ禍もありましたが、何度も何度も会合をしていただき、**いよいよ千種町の自治・まちづくりの新しい仕組みを2025年度からスタートさせるべく、大詰めの段階になってまいりました。**

## ＝＝＝今までの経過＝＝＝

### まちづくり研修会・意見交換会（連合自治会・まち推共催）を実施！

昨年、10月31日に、参画と協働によるまちづくり研修会・意見交換会が行われました。各自治会長さんからは、『自治会がしっかり参加することが大事』『自治会だけではできないことが増えているので、広域で考える組織が必要である』『大事なことを自治会役員へつなげることが大事』『13名の自治会長全員が入った方がいい』など、千種の将来を考えた前向きな発言がたくさん出されました。この意見交換会でのまとめは、NEWまち推設立準備委員会で報告され、このことをふまえた議論が展開されることになりました。



### 組織のイメージが見えてきました！

12月10日の第5回準備委員会は、13自治会の自治会長さんとの合同会議のスタイルで行われました。新しい組織の構成員をどうするか、役員をどうするか、総会をどうするかなど、論点を絞った具体的な検討が進められ、組織のイメージがだんだんと見えるようになってきました。そして、議論が深まってきたことから規約の検討にも入りました。

規約はとても大切な決めごとです。特に、何のための組織なのか設置目的をはっきりとさせておく必要があります。



### 組織の設置目的（規約の解説）！

検討している規約ですが、設置目的の部分を少し詳しく説明します。

『人口減少と少子高齢化が今後さらに進むとしても、我がふるさと千種町の住民はとて前向きです。』『住民アンケートや未来会議などで見えてきた地域課題の解決に向けて、年齢や性別、自治会などの枠を越えて、地域全体でスクラムを組みます。』『団体や個人のいろいろな活動、これから芽生えてくる新たな活動などを通じて、自治会も、団体も、個人も、よりつながっていきます。』『また、こんな千種になればいいなという共通目標を立てて、負担と実行のバランスを考えながらまちづくりを進めます。』『地域みんなが関わり、みんなで考え、方向性を決定する、千種オリジナルの参画と協働によるまちづくりを推進し、地域の自主自立をめざすための仕組みをつくります。』



皆さんいかがでしょうか。ご意見をいただけましたら幸いです。

## 新たなまちづくりの仕組み

### ～これから10年間の千種のまちづくりに向かって～

そして、現在の自治会長さん、主な各種団体長さん、まちづくり推進委員会役員の皆さん、アンケート活用委員会の皆さん、未来会議にご出席いただいた皆さん、そして、コミュニティ支援員・千種市民局担当者の皆さん、等々により、「新たなまちづくりの仕組み」そして「今後10年間でまちづくりとして取り組む主なテーマ」の原案を作っていただきました。

大きな仕組みとして、次の3つが作られます。

#### 『総会』

基本は年1回、6～7月頃に開催され、千種町の一年間の活動方針・予算の決定や役員の承認などを審議する、今後の千種町の最高の議決機関です。議決は、各自治会の全住民数に比例して代議員を出してもらう代議員制とします。

(下記の運営委員、企画委員は提案者として参加します。)

総会后、そのまま、**未来会議**も行います。参加された各自治会代表の方や、傍聴者、自由参加の方々等々、できるだけ多くの方に参加していただき、暮らしの困りごとや提案ごとなどを出していただきます。

これらは、住民全員がまちづくりの主役・自分ごととなる仕組みの原点となるものです。

#### 『運営委員会』

基本は2ヶ月に1回行います。主なメンバーは、自治会長さん全員、主な各種団体長さんです。

会長は連合自治会長経験者から別に選出し、副会長・会計等は会長が別に選任します。また、下記の企画委員会からも若干名が参加します。

総会に出す原案の決定、総会で決定された活動方針・予算等を元に、具体的な活動について決定していく、事実上、千種町の運営の要となる組織です。

また、今後、今まで自治会長会が一手に担ってきた、千種町としての決めごとや対外的な代表の役割も、この運営委員会が徐々に担っていき、自治会長会の負担軽減にもつながればと考えています。

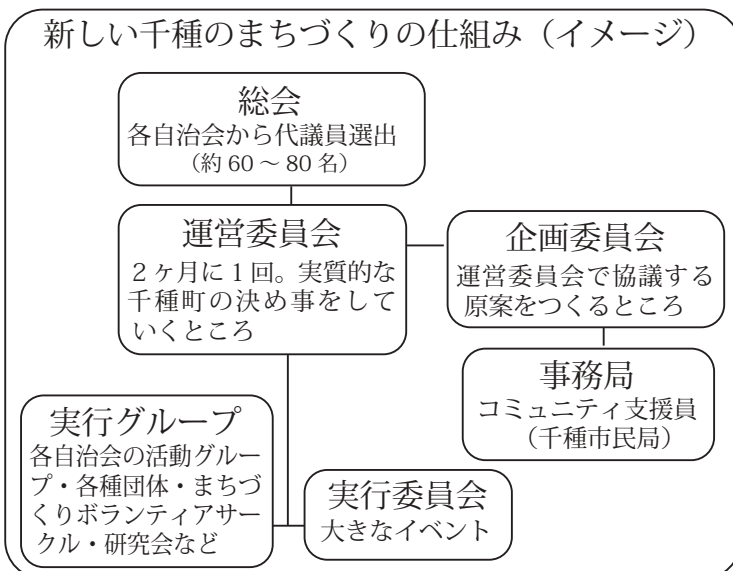
#### 『企画委員会』

ここでは運営委員会で協議する原案を作ったり、また、運営委員会から依頼されたことを検討していきます。運営委員は大変忙しい方ばかりです。そこで、まちづくりの原案を事務局とともに実質的につくっていく役割を担います。メンバーは、運営委員会委員の推薦、あるいは、公募に応じた人の中から、運営委員会で選任します。概ね10名以内と考えています。千種町のまちづくりの実質的な司令塔・調整役となるところです。

以上が、これからの柱となる大きな3つの仕組みです。

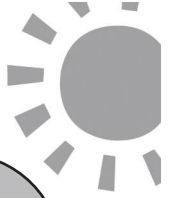
そして、実際にまちづくりを行っていくのは、今、すでに実行されている様々な活動団体や個人の皆さん、そして、これを契機に新たに活動しようと作られるグループ等の皆さんです。そのような自主的な皆さんの活動とうまく連携し地域全体でバックアップしていけるように、また、「もう人数も減ってきて今までの活動がしづらくなってきた」というところを、隣同士や町全体の視点で、連携・協働できる体制にしていくなためにも、この大きな3つの仕組みが中心となり、みんなでつながり助け合う千種町のまちづくりの仕組みになっていけばという思いです。

#### 新しい千種のまちづくりの仕組み（イメージ）



これから 10 年間の取組み内容  
ち・く・さ・え・え・な

皆さんからのアンケート結果をもとに、今から 10 年間で  
取り組んでいくべき主な取組をまとめていただきました。  
今後の活動の大きな目安になると思います。



**さ**

福祉 人権  
防災・防犯

**ささえあいで生きる違いを認め合い、  
良さを活かしあうまち**

- (1) 「おたがいさま」の地域づくり
  - 交流・助け合い・見守り活動
- (2) 誰でも安心して暮らせる生活環境の充実
  - 買い物・移動手手段の検討
  - 地域防災・防犯活動
  - 地域ぐるみでの人権学習

**え**

子育て  
教育

**ええつながりで子どもを育てる  
人が豊かなまち**

- (1) 園小中高連携の推進による教育の充実
  - 地域での学びの継続
  - 園小中高連携事業への協力
- (2) 千種高校の応援
  - 高校生が考える取組みの応援
  - 高校生の困りごとへの協力
- (3) 子育てしやすいまちづくり
  - ママ・若者の居場所づくり
  - こども食堂の応援
  - 自然あそびなど体験活動の展開

**く**

自然・環境  
歴史・文化  
産業

**くうきを胸いっぱい深呼吸、  
自然と共に生きるまち**

- (1) 自然を活かし、田舎風景を守る
  - 地域全体の課題としての耕作放棄地対策
  - クリンソウなどの資源の保全
- (2) ちくさならではの産業・商業の充実
  - 獣害対策の研究と実践
  - 郷土の特徴を活かした商品開発

**え**

健康づくり  
生涯スポーツ

**えがおあられるちくさの暮らし  
みんな元気で健康なまち**

- (1) 心と体の健康づくりの推進
  - いきいき百歳体操の応援
  - ラジオ体操・ウォーキングなど
  - 気軽に集える居場所づくり
  - 栄養・料理教室など
- (2) 生涯スポーツの推進
  - 地域スポーツ活動の支援
  - 多世代が集えるスポーツの普及

**ち**

まちの仕組み  
男女共同参画

**ちくさを好きな人たちが暮らす、  
住んでも来ても楽しいまち**

- (1) みんなの声が届く仕組みづくり
  - NEW まち推の運営・更新
  - 今ある役割や組織の見直し
  - 若者や女性が参加しやすい仕組みづくり
- (2) みんなが楽しめるイベントづくり
  - ちくさえとこ未来会議の開催
  - イベントの開催(妙見夏まつり、ちくさふれあいフェスタなど)

**な**

交流  
生涯学習

**なかがみが見つかる！  
誰でもチャンスに出会えるまち**

- (1) つながり・交流を深める
  - サークル活動などへの協力
  - 地域の枠を超えた交流
- (2) 移住定住者を増やす
  - 空き家や地域の情報提供
  - 移住希望者のサポート
- (3) 情報発信・魅力発信の充実
  - 地域情報誌や SNS を活用した千種の魅力発信

**まちの将来像**

**豊かな自然に  
つまれて  
人と人があたたかく  
つながるまち**

## 今後の予定

# 2月24日 設立総会を行います!!

さて、いよいよ今後の予定ですが、

### 1月29日に第6回（最終）設立準備委員会

このようなまちづくりの原案をもとに、第6回（最終）設立準備委員会をします。

ここで、いよいよこの原案の最終決定、また、この会の正式名称の決定等をしていきます。

そして、いよいよ

### 2月24日に 設立総会を開催することを決定しました。

設立総会では、市長をはじめとする来賓参加のもとで、多くの地域の皆さんにお集まりいただき、規約、組織体制、役員体制、千種まちづくり計画などを決定していけるよう準備を進めています。

また、設立総会のあとは、今回で第5回目となる『ちくさえとこ未来会議』の開催を計画しています。未来会議は、年齢や性別、自治会などの枠を越えて、自由に意見交換ができる開かれた場として定着してきました。ご近所・ご友人などお誘いあわせの上、多く皆さんに参加いただきたいと思います。詳細については、2月広報とともに配布予定の案内チラシをご確認ください。

この「ええとこ通信」も「千種まちづくり推進委員会」発行は今号が最後となります。次号からは、新しい組織名での発行となります。

旧4町が合併して20年。宍粟市の北西の端に位置する千種町が宍粟市に埋もれてしまうことなく、いつまでも千種町としての地域コミュニティ、地域のつながり、地域の求心力を維持していくために、待望の「千種のことは千種町民が決めていき、自分たちで行動していく」仕組みがバージョンアップし、再スタートします。

仕組みや規約など、宍粟市内だけでなく、他地域を見てもなかなか見当たらないような素晴らしい案を考えていただきました。今後、市内他地域のモデルとなればと願っています。とは言え、実際に活動を始めると、修正した方がよいところは多々出てくるでしょうから、それは、その都度修正し、より実態に合ったよりよい仕組みをみんなで作っていければよいのではと思います。

これから、ますます人口が減っていきますが、だからこそ、みんなバラバラでなく、できるだけ助け合う暮らし、心を寄せ合う暮らしができればと思います。そのための仕組み作りはとても大切です。

無理のないところで、自分の関わるところから、何かお互いに役に立つ、助け合うことを、楽しくやっていければと思います。



# 新春ご来光を見る集い2025



ちくさ登山同好会の主催で、毎年1月1日に行われている「新春ご来光を見る集い」に、今回初めて参加させていただきました。朝7時前に国道429号線の志引峠頂上付近に着くと、前日に準備されたドラム缶で火を焚いて待ってくださっていました。

(兵庫県庁の日の出時刻が7時06分) 志引峠からは7時20分頃になるとのことで、火を囲んで歓談しながら待ちました。最初、数名だった人数が、日の出の瞬間には未就学児から90歳代の方まで30名余りになっていました。



普段は千種町が見渡せる眼下に雲海が広がり、木々にはうっすらと雪が積もっています。徐々に東の稜線がオレンジ色に染まっていき、初日の出を迎えました。幻想的な光に見とれて声を失う人や手を合わせて拝む人、初日の出をカメラに収める人など…。毎年来られているという方は、「これまで来たなかで一番綺麗!」と興奮気味におっしゃっていました。

前会長の井口さんに話をお聞きすると、「ご来光を見る集いを始めてから、かれこれ40年になる」といいます。以前は日名倉山に登って見ていたようですが、今は現在の場所に。最後に大山美次会長から、「来年もぜひ参加して欲しい」、そして、「能登の復興と一緒に祈って欲しい」という2つのお願いがありました。



能登半島地震から1年、あの阪神淡路大震災から30年となります。

2025年が、良い一年になりますように!!

# 鷹巣ふるさとの集い

住民の作品展示と舞台発表「鷹巣ふるさとの集い」を今年も開催することができました。以前から続く「文化学習委員会」が推進役となり、自治会役員や有志が心と力を合わせ、地域の活力を盛り上げることができました。田舎を離れている出身者が帰ってくる機会ともなっています。



- プログラム
1. 開会のことば
  2. 鷹巣ふるさとの集い
  3. 本展覧会
- 【文芸発表】
- ① 大島美穂
  - ② 長谷川 誠
  - ③ コラソン
  - ④ 鷹巣ふるさとバンド
- ……食卓(15:00～17:00)……
- ⑤ ハンドクラフト
  - ⑥ 鷹巣ふるさとバンド
  - ⑦ 鷹巣ふるさとバンド
  - ⑧ 鷹巣ふるさとバンド
  - ⑨ 鷹巣ふるさとバンド
  - ⑩ 鷹巣ふるさとバンド
- ……閉会のことば……





千種高校のアクティブ類型2年生と3年生は、「木工」の授業を行っています。今年度からは、市内の事業者「チェシャーズ・ファクトリー」の代表である野村氏を講師に迎え、木製のおもちゃづくりを行い、製作した木製のおもちゃをこども園にプレゼントし、園児のみなさんに木とふれあう環境を提供したいと考えています。

使用する木材は、可能な限り、宍粟の豊かな自然で育った宍粟市産の木材を使用します。生徒たちが自らの手で製作した作品をプレゼントすることで、生徒の自己有用感を高めるとともに、こども園との連携を図ることは、地域の活性化につながり、木製のおもちゃづくりを通して、宍粟市を代表する産業である林業の価値が再認識できるものと考えています。



#### 受講する生徒たちの声



3年 工藤 琴羽 (写真左)

木工の授業は2年目ですが、おもちゃづくりははじめてです。ちくさ杉の子こども園の園児は元気が良く、その子どもたちに楽しく遊んでもらえるおもちゃをつくりたいと思います。

3年 平塚 湧大 (写真中央)

ちくさ杉の子こども園には元気な子どもが大勢い

るという印象を持っています。子どもたちがおもいっきり遊んでも壊れないような、丈夫なおもちゃをつくりたいと思います。

3年 竹添 吉星 (写真右)

小さな子どもに何かをプレゼントすることがなかったため、自分たちがつくったおもちゃに喜んでもらえるか少し不安です。安全に使ってもらえるようなおもちゃをつくりたいと思っています。



兵庫県立千種高等学校長 菊川 泰

千種では、これまでも園小中高が連携して多くの活動を行ってきました。

年齢の異なる子どもたちが交流する機会が多く、触れ合いの中で自他を大切にする優しい人に成長していると感じています。

高校生からもらったおもちゃで遊んだ子どもたちが、高校生になって思いを込めておもちゃをつくり園児にプレゼントする、そのような思いやりの連鎖ができれば素敵だと思います。

木のおもちゃ作りには費用がかかりますので、この度、クラウドファンディングを実施させていただくことにいたしました。ぜひとも成功させたいと思っておりますので、多くの皆様にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

生徒たちの学びを応援するために、ぜひご支援ください。

受付期間 令和7年1月31日(金)

お申し込みはインターネットが便利!

ふるさとチョイスガバメント  
クラウドファンディング



URL: <https://www.furusato-tax.jp/gcf/3594>

## 新シリーズ 事業所紹介コーナー

**(株) 日本エアテック**

今号から新しいシリーズとして、千種町内にある事業を紹介するコーナーを始めてみたいと思います。

トップバッターは(株)日本エアテックさんです。



**Q.** 主にどのような物を作られているのですか？

**A.** 航空機やヘリコプターのエンジン、船舶用・発電機用のガスタービンエンジンの部品を製造する精密金属加工の会社です。

**Q.** 沿革は？

**A.** 1960年、明石で大山鉄工所として創業以来、産業用ガスタービン、民間航空機用エンジンや船舶用機器部品の機械加工及び溶接をはじめとする特殊工程、その他、治工具設計製作等を行ってきました。

1988年に株式会社日本エアテックに社名を変更。

1991年に千種工場を開設しました。

2008年以降、JIS Q 9001/9100（航空宇宙シリーズ）や Nadcap 特殊工程認証の溶接・非破壊試験・コーティングを取得。

2019年4月 株式会社日本政策投資銀行からの出資を受け、株式会社日本エアテックの神戸工場および千種工場を分割し、株式会社 JAT を設立しました。

**Q.** 従業員は何名ですか？

**A.** 千種工場には24名、全社では310名です。

**Q.** 勤務形態は？

**A.** 昼勤と昼夜交代勤務です。（配属先によって異なります）

**Q.** 会社の思い・理念は？

**A.** 当社が製造する製品は、航空機のエンジンや病院、データセンター向けの非常用発電装置として活躍しています。今後も社会インフラを支える企業として、更なる品質改善に努め、顧客やエンドユーザーの満足度を高めることで企業価値を向上させ、従業員と地域の発展に貢献していきたいと考えています。

**新入社員大募集中です**

民間航空の旅客需要は、既にコロナ禍前の水準に回復しており、今後も航空機需要は拡大するものと期待されています。

現在、弊社は新規受注案件を多数抱えており、今後の増産に対応する為にも人材の育成に注力しています。弊社のものでご興味をお持ちの方は一度ご連絡頂けると幸いです。Uターンを考えられている方大歓迎です。また明石、神戸で働きたいという方がおられれば気軽にお問い合わせください。

（職種は機械加工、ブレード等の手仕上げ、生産管理、生産技術等です）

千種で事業を開始されて33年。千種の数少ない企業の一つとして、千種での雇用を何とか守りたいと頑張っています。これからもますます発展されますよう願っています。

（お問い合わせ先）

兵庫県宍粟市千種町千草 886-1

TEL：0790-76-3666 FAX：0790-76-3668

URL：https://www.j-airtec.co.jp/

MAIL：info@j-airtec.co.jp

明石市大久保町八木 497-1

TEL：078-936-8093 FAX：078-936-6362

MAIL：hashimoto\_s@j-airtec.co.jp

（会社概要）

工場：(株)日本エアテック明石工場、(株) JAT 神戸工場、  
(株) JAT 千種工場

主要製品：航空機用および発電機用ガスタービンエンジン

部品 船舶用機器部品 治工具設計製作

主要設備：5軸立・横型マシニングセンター、立型NC旋盤、等

## ペンリレー 第18回

猶原千恵さん 

## Q 自己紹介

昭和 36 年 9 月 3 日生。道の駅ちくさの側のポツと一軒家に生を受け、天真爛漫に育ち、加古川で長らくお世話になり、2022 年 2 月に卒婚してふるさと千種に帰って来ちゃいました。

## Q お仕事は何をされてますか？

歌い手です。  
40 代でジャズと出逢い、50 歳からプロを目指して今に至ります。  
わくわく健康発声教室も主催しております。

## Q 趣味は？

ファッション インテリア

## Q 何をしている時が一番楽しいですか？

美味しいものを食べてる時

## Q 夢は何ですか？

地球を愛の星にする

## Q 千種町への思いは？

千種弁大好き！  
とても温かくて癒されます

## Q 次回の紹介者は？

渋谷友香さん



## わくわく健康発声

自分を大切にする教室

心と身体をゆるめよう

講師 猶原なおはら千恵

090-8658-4884

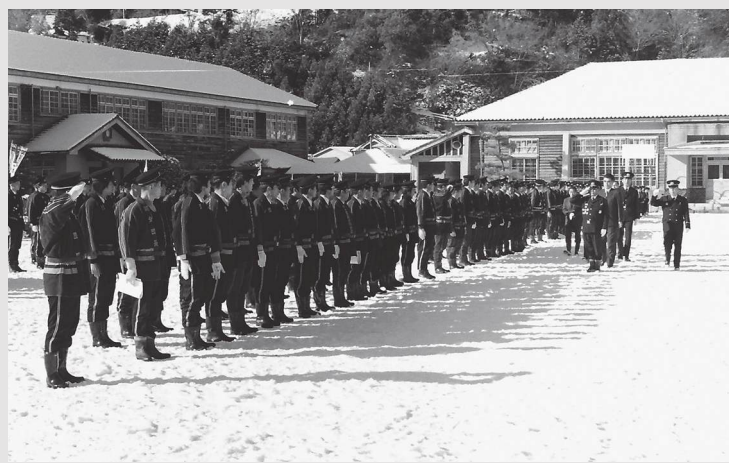
場所 千種市民協働センター ライブリーちくさ 3F

土日開催 詳しくはお問い合わせください

受講料 1000円

## 一枚の写真

～消防出初式～



この写真は、千種南小学校（現：千種小学校）の校庭で行われた「出初式」の様子です。現在は年度初めの4月に宍粟市消防団として行われていますが、当時は正月明けの1月4日、極寒の中での出動でした。写真では分かりにくいですが、団員たちは寒さのなかで雪に覆われた校庭に整列しています。

出初式のあと、千種川沿いで（色粉を付けた）一斉放水が行われ、子ども連れのギャラリーも多く賑わっていました。出初式は、千種のお正月の風物詩でした。

（みなさんのご家庭に眠っている懐かしい写真を編集部にお届けください！

ちくさえとこセンター ☎0790-71-0230）

## ＜消防団の現状＞

宍粟市消防団発足時（平成21年）に220名だった千種支団の団員数は、令和6年（4月）に116名と約半数に減ってきています。消防団活動を維持していくために、慣例になっていた退団年齢の引き上げ要請や、新入団員の勧誘を自治会に協力依頼するなど、様々な取り組みがなされていますが、歯止めがきかない状況です。

現在の部単位での活動が困難となってきたことから、千種支団では自治会の枠を超えた部の再編を行い、機動性の確保をめざします。みなさまのご協力をお願いします。

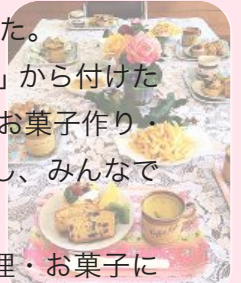
# なのの会 ふれあい喫茶

七野自治会「ふれあい喫茶」が、先月1日に七野公民館で開かれました。12月ということで、素敵な写真でも分かるように『クリスマスバージョン』でした。(雑祭りバージョンや七夕バージョンなど、年に3回程度開催)誰でも参加でき、この日のメニューはパウンドケーキにフルーツ、フライドポテトとかぼちゃスープ。おかわり自由な珈琲・お茶も付いて1人200円です。今回は、高齢者を中心に30名余りの方が来られて、和気あいあいとカフェ&おしゃべりを楽しまれました。

ふれあい喫茶は、ボランティアグループ『なのの会』で運営されています。自治会名「七野」から付けた名称ですが、今は名前の通りメンバー7名になり、今年でちょうど10年になります。料理・お菓子作り・会場演出・歌や踊り・洋裁・会計など、7名全員に得意分野があって、それぞれの良さを発揮し、みんなで認め合ってきたという仲の良さです。

来られたみなさんに美味しく楽しんでもらいたいと、会場の雰囲気づくりや手づくりの料理・お菓子にもこだわりが見えます。喫茶だけでなく自治会の行事には積極的に協力し、9月の七野ふれあい食事会ではキラキラの衣装で「マツケンサンバ」を披露して、会場を熱狂させたと聞いています。準備から開催、片付けまでのおしゃべりも楽しみのひとつ。代表の村上悦子さんは「これからも仲良く、長く楽しく活動をしていきたい」と笑顔で話されていました。

◀写真左から、春名さん、春名さん、村上さん、神田さん、春名さん、村上さん、春名さん(お揃いのエプロンも手作り)



## 福海寺 おてらカフェ

みなさんは、岩野辺 福海寺の「おてらカフェ」をご存知でしょうか。ご住職がされているSNSで知り、12月のカフェにお邪魔しました。会場の「光明殿」へ足を踏み入ると、楽しそうな笑い声が聞こえてきて、ワクワクした気持ちに！ちょうどお昼時だったからかもしれませんが、たくさんの方が来られていました。(無料とのことですが、協力金100円を入れて)

軽食と聞いていたのに、「大根葉のごはん・粕汁・酢の物・お漬け物」に「お抹茶・芋もち」もいただけて、お腹いっぱいになりました。とても美味しいごはん、いつもなら話す機会のない方々とのおしゃべりも楽しめて心が温まりました。

以前は単独でカフェをされていましたが、約7年前に光明殿会館が完成してからは、「あうん花畑」のメンバーや有志の協力で軽食と飲み物、デザートを提供されるようになりました。また、池谷さんの2人のお孫さん(瞬くん、菜ちゃん)もお手伝いとして大活躍、アイドル的な存在で場の雰囲気を和ませています。

国道429号沿いでオレンジ色の「のぼり」を見られた方もあるかもしれませんが、「おてらカフェ」は毎月第一日曜日に開催されていて、これが目印となっています。これまでに「お寺でカフェなんて珍しい！」と立ち寄られたバイクの方や、遠く三田市から度々来られる方もあるそうです。みなさんもこの「のぼり」を見かけたら、ぜひ、立ち寄ってみてください。

◀左から、河谷さん、池谷さん、田口さん▶

